

大規模言語モデルの現在地とこれから

株式会社Preferred Networks 共同創業者
代表取締役 最高技術責任者・最高研究責任者

岡野原 大輔
おかの だいすけ

- * 半導体設計からソリューション開発まで
- * 10年ごとに大きな変化
- * 「自己教師あり学習」の世界
- * LLMは米国、中国との競争
- * AIのプログラマー支援市場だけで巨大
- * AI提案の良し悪しを判断するのは人間
- * 有効な教育現場でのAI活用
- * LLM悪用の可能性もある
- * 中国のディープシークが大輸出産業に？
- * 日本が取り組むべき4つの道



山縣 それでは開会いたします。（拍手）

講師ご紹介の前に一つだけお知らせです。

今日のご講演から、録画を今まで2週間しかご覧になれなかったのを、4週間に拡大しました。今まで2週間だとちょっと見逃してしまうとか、海外旅行に行っていると見られないというお話をいただいていたいました。

それでは、今日の講師をご紹介します。

本日は、プリファードネットワークスの共同創業者であり、代表取締役で最高技術責任者、最高研究責任者をなさっています岡野原大輔さんにお越しいただきました。岡野原さんは、今最も注目を浴びているハイテクベンチャー企業の責任者であられ、東大大学院在学中の2006年に、ご学友と一緒にこの会社を創業されてい

ます。会社も岡野原さんも、こういう言われ方がお好きかどうかかわからないけれども、日本の希望の星だと、たいへん注目を浴びていらつしやいます。

技術評論社という技術者、研究者向けの本を出すところから、たとえばレジュメの初めのほうに写真がありますけれども、『ディープラーニングを支える技術』などの専門的なご本を書いていらつしやいますが、一方で、岩波の科学ライブラリーで『大規模言語モデルは新たな知能か ChatGPTが変えた世界』をチャットGPTが世に出てきた時にすぐにお書きになって、後書きを見ましたら、最初の稿は2週間で書かれたとあり、驚いたのですけれども、この本をたまたま私は読み、非常によくできた啓